

Grok 4.5: 実務とコスト効率でAI競争を再定義する

2026年7月にSpaceXAIが公開したGrok 4.5は、絶対的な知能よりも競合モデルに肉薄する性能を「より安く、より速く」提供し、コーディングや知識労働に特化した実務エージェントとしての完遂力を重視した設計が特徴です。

実務特化型の性能とエージェント適性

コーディング・エージェント 領域でトップクラス



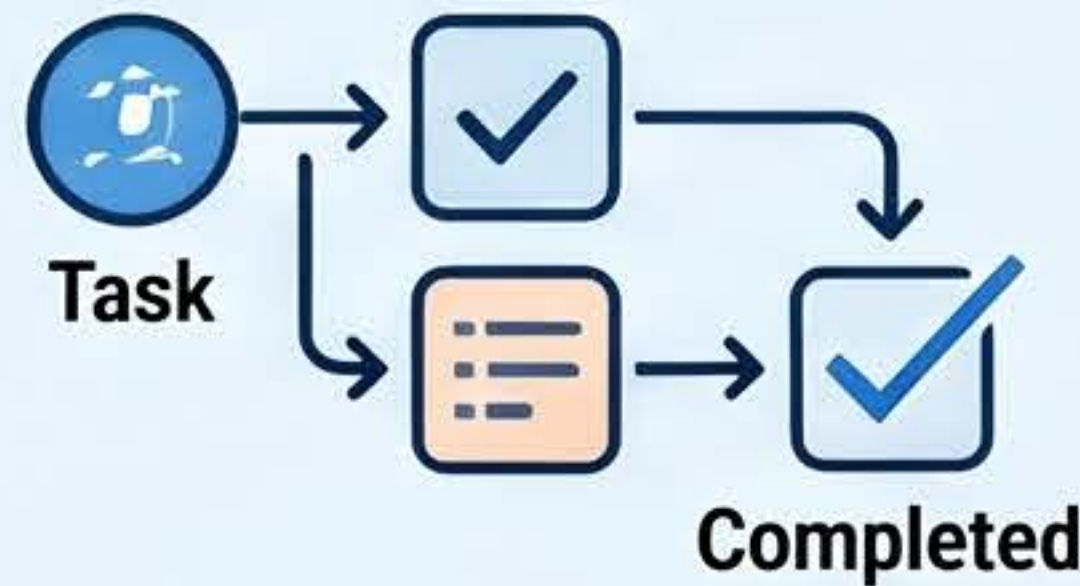
Cursorとの共同訓練により、ソフトウェア工学の実務ベンチマークでGPT-4.1級の性能を発揮します。



93.2 tokens/s
の高速レスポンス

独立機関の計測で、最先端モデルの中でも極めて高い生成適度と応答性を記録しました。

実務完遂を重視した設計



派手な一発のスコアより、ツールを使いながら粘り強く仕事を完遂する能力に最適化されています。

市場を破壊する圧倒的なコストパフォーマンス



競合比で20%~40% のコスト削減



GPT-4.1やGPT-4oと比較して、入力・出力単価ともに大幅に安価に設定されています。



主要な最先端AIモデルとGrok 4.5の価格・性能比較

モデル名	入力価格 (per M)	出力価格 (per M)	コンテキスト窓
Grok 4.5	\$2.00	\$6.00	500K
GPT-4.1	\$2.00	\$8.00	1M
GPT-4o	\$2.50	\$10.00	128K



企業向けデータ ガバナンスの明文化

APIデータは学習に使用されず、Enterprise向けには保持期間ゼロの「ZDR」を提供します。



導入判断には 「自社評価」が必須

安全性ドキュメントの不足や日本語品質のはらつき、ベンチマーク汚染の疑いには注意が必要です。